5月5日から11日まで児童福祉週間

子どもたちの笑顔を守って

平成19年度「児童福祉週間」標語
見つけよう　みんながもってる　いいところ

5月5日は「こどもの日」。子どもの健やかな成長を願う気持ちは、昔も今も変わりません。

しかし、その子どもたちをめぐって、児童虐待や子どもが被害者となる犯罪の増加、いじめ問題など、暗い事件が相次いでおり、子どもたちの健やかな心の成長や子どもたちを取り巻く身近な社会の安全が脅かされています。

市内の児童虐待発生状況

全国の児童相談所が受けた虐待相談件数は年々増加の一途をたどっています。

本市でも例外ではなく、平成13年度に346件だった相談件数も18年度には627件と、5年で倍近い数字となっています。

子どもの成長に最も大きな影響を与える環境は家庭です。家族との温かいふれあいを通じて、子どもの豊かな心がはぐくまれます。

近年、親は仕事、子どもは習い事で忙しいなど、親子のふれあいの時間は少なくなっているようです。また、父親の子育てへの参加がまだまだ少なく、母親への負担が大きくなっていることから、「子育てに自信が持てない」「仕事や自分のことをする時間がない」といった悩みを抱える母親も多くなっています。こうした子育てに対するストレスが、児童虐待の要因にもなっています。

子育てでも、家庭のことも思いどおりにいくとは限りません。

市では、子育て中の皆さんをサポートするため、次のような事業を行っていますので、気軽に遊びに来て相談してください。決して悩みを一人で抱えないでください。

なかよしひろば

子ども館2階と三里塚コミュニティセンター1階では、乳幼児と保護者が自由に遊べる場、保護者相互の情報交換の場として利用できる「なかよしひろば」を開設しています。子育てについての相談にも応じています。

●**対象**＝市内在住の乳幼児と保護者

●**開設日**＝火～日曜日（各施設の休館日を除く）

●**時間**＝午前9時～午後4時30分

●**場所**＝子ども館2階（☎20・6300・加良部3・3・1）、三里塚コミュニティセンター1階（☎40・4880・三里塚2）

青空ゆめひろば・ひだまり

赤荻保育園（青空ゆめひろば）と大栄保育園（ひだまり）では、子育て中の親と子のふれあいを応援するために園を開放しています。

●**対象**＝市内在住で保育園・幼稚園に入園していない乳幼児

●**開放日**＝月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

●**場所と時間**＝赤荻保育園（☎24・0752）午前9時～午後0時15分、大栄保育園（☎73・3000）午前9時30分～午後4時30分

なかよしひろばで子育ての情報交換

園開放（保育園）

赤荻・大栄以外の保育園でも開放日を設けています。園児と遊んだり、保育士や看護師に育児の悩みをご相談ください。ただし、宗吾・公津の杜・月かげ以外の保育園は予約が必要です。

●**対象**＝市内在住で保育園・幼稚園に入園していない乳幼児

●**開放日時と場所**＝「広報なりた」15日号の福祉と健康のページに掲載

休日保育

公津の杜保育園では、日曜日に就労している世帯で、市内の保育園に入園している乳幼児を対象に保育します。利用の際は、事前に電話で同園に連絡してください。

●場所と時間＝公津の杜保育園（☎29・6551・公津の杜2-24-1）午前8時30分～午後3時30分

●保育料（食事・おやつ代別）

○1歳～3歳未満…1日4,000円・半日2,000円

○3歳～就学前…1日2,000円・半日1,000円

相談窓口

◇家庭児童相談室（児童家庭課内）

子どもの発達、学校生活、幼稚園・保育園の生活、家族の問題、非行など、子どもについての心配事について、家庭児童相談員が相談に応じます。

●相談日時と場所＝月～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後4時・児童家庭課（市役所1階・☎20-1538）／虐待専用電話（☎23-5110）

※子育て支援についてくわしくは児童家庭課（☎20-1538）へ。

病児保育室がオープン

仕事などで休めないときに

子どもが病気やケガで保育園などを休まなければならないとき、子どもの面倒を見るのは親の務めという気持ちがあると思います。しかし、どうしても仕事を休めなかったり、急な用事ができたりしたときに、医師のもと、子どもを預かる病児保育室がオープンしました。

場所＝なのはなクリニック病児保育室ゼフィルス（吉岡1342-57・☎73-8110）

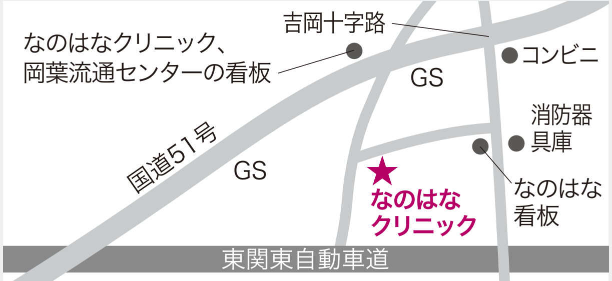
利用方法＝事前に登録が必要です。登録の受け付けは、なのはなクリニック、児童家庭課、市内公立保育園で行います。利用するには「ゼフィルス」に前日までに予約が必要です。急な場合は相談してください

登録用紙配布場所＝なのはなクリニック、児童家庭課、市内各保育園、市内各幼稚園、市内各児童ホーム、下総支所福祉課、大栄支所福祉課

開室日時＝月～土曜日（金曜日は休み）午前8時～午後6時（土曜日は午後1時まで）

対象と定員＝6カ月児～小学校低学年・10人

保育料＝1日3,000円、土曜日・平日6時間まで1,800円



※くわしくは、なのはなクリニック病児保育室ゼフィルス（☎73-8110）へ。

成田市子ども館

さまざまな交流が待っています

3年目を迎えた「成田市子ども館」。ここは、自由に遊べる場の提供・子育てについての相談・保護者相互の交流・子どもの世代を超えたふれあいや交流の支援などを目的に設置された施設です。

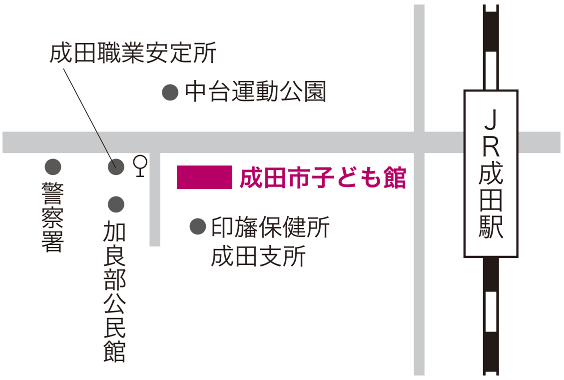
前ページで紹介した「なかよしひろば」と小学生～高校生を対象にした「ふれあいひろば」からなっています。

学習室もあるので、試験前などにもご利用ください。

今年も盛りだくさんのイベントが

月に2回程度のイベントを企画しています。竹細工や自然観察会、たこ作りにたこ揚げ大会、カブトムシと遊ぼう会、往復16キロメートルものウォーキングにチャレンジなど、屋内外を問わず、いろいろな企画をして皆さんの参加を待っています。

※くわしくは児童家庭課（☎20-1538）または子ども館（☎20-6300、月曜日・祝日・第3日曜日は休館）へ。



参加者募集

最後まで歩けるかな？ あるけ・歩け・歩こう会

さわやかな5月、子ども館から新緑の坂田ヶ池総合公園まで遠足に出掛けませんか。

●日時＝5月27日（日）午前9時15分集合・午後3時30分解散予定（雨天中止）

●集合場所＝子ども館

●コース＝子ども館～坂田ヶ池総合公園（昼食）～子ども館（約16km）

●対象＝小・中学生（保護者の参加も歓迎）

●定員＝20人（先着順）

●参加費＝200円

●服装・持ち物＝履き慣れた靴・帽子・タオル・水筒・弁当・おやつ・雨具・着替え・レジャーシート

●申し込み方法＝直接または電話で子ども館（☎20-6300）へ

※子ども館の職員が引率します。くわしくは同館へ。